

2014年6月発行

# Arche21

鹿児島県立沖永良部高等学校 【進路通信】

継続するということは  
同じことの繰り返しではなく、  
成長し続けることなのです。

プロテニスプレーヤー

クルム伊達公子

## 求められる「コミュニケーション能力」

経団連が毎年発表している「選考時に重視する要素」によると、今、企業が学生に求める力1位は「コミュニケーション能力」だそうです。なぜなのでしょう？

理由を挙げると…

- ① プロジェクトやチームでの仕事の増加。
- ② どんな職種でも、様々な関係各所との調整が必要。
- ③ 商材が高度化・多様化しており、相手のニーズを引き出すヒアリング力が必要。
- ④ 上司からの指示、お客様からのご要望を適切に理解し、応える。 など。

## (3) 読む力

「読む力」とは、**相手が聞いてくる質問の意図や背景を理解する力**のこと。この「読む力」も弱い学生が多い。

面接の際に質問される内容を適切に理解しないで、聞かれたままを答えてしまうのです。例えば、「あなたは部活動をしていましたか？」という質問に対して、「はい。していました。」との答え。面接官は部活動を通して身に付けた能力や体験から得た学びなどについて聞きたいにも関わらず、単にYES・NOの回答であると拍子抜けしてしまいます。相手が欲している質問の意図を読み取ることができない人は「読む力」が足りないと言えます。

## 「コミュニケーション能力」とは？

### 「コミュニケーション能力」の3つの力

#### (1) 話す力

「話す力」とは、**自分の考えや思いを相手に分かりやすく伝える力**のこと。就職活動でいうと、面接やグループディスカッションなどで発揮されるスキルです。多くの学生は、「話す力」だけを鍛えようとします。それは、「コミュニケーション能力=話す力」と思いこんでいるからです。しかし、コミュニケーション能力は、決して「話す力」だけではありません。

#### (2) 聴く力

「聴く力」とは、人の話をただ聞くのではなく、**注意を払って、より深く、丁寧に耳を傾ける力**のこと。近年、この「聴く力」が弱い学生が非常に多いといえます。

相手に伝えることだけに必死になって、相手の話している動作にリアクション（視線・頷き・表情など）ができない人は「聴く力」が弱いと言えます。

## どうすれば「聴く力」「読む力」を訓練できる？

「内定塾」講師水元先生によると…

（「プロが教える就活前線」より）

「聴く力」や「読む力」は、**相手に気を配りながらでない**と身につけにくい力です。相手に気を使いながら、自分の主張を織り交ぜていくことが訓練になるでしょう。例えば、部活やアルバイト、先生との会話など、普段の生活でも異なる世代の人とコミュニケーションをとる機会がたくさんあります。そのような機会を利用して、相手の話に頷き、共感し、相手の質問に対して適切な回答ができる訓練をしなければ、就職活動や面接練習を始めてから付け焼刃的に訓練したとしても、既に訓練している学生には負けてしまうのです。

異世代コミュニケーションを積極的にとり

「聴く力」「読む力」を鍛えて

今、最も求められている

「コミュニケーション能力」の高い人間に！！